

秋月 城下町 MAP

秋月氏、黒田氏の栄華がひっそりと眠る城下町。約800年のさまざまな歴史と悲話を秘めている。まち並みは、武家屋敷や土堀、苔むした石垣、格子がつづき、まさに「筑前の小京都」。5万石城下町として栄えた秋月。今も古に逢えるまちです。平成10年4月に、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。



朝倉市指定無形文化財 光月流太鼓
江戸時代、黒田氏入封の際、家臣がある満月の夜に月光に照らされて打った太鼓の柀の影から編み出したとされる曲打ちです。

朝倉市指定無形文化財 林流抱え大筒
秋月藩は古来武勇を以て聞こえた藩といわれ、現在砲術は、秋月の大筒保存会に伝承されています。春祭りや秋の観月会、又、12月と1月に1年間の安全のお礼と安全を祈願して、秋月城跡の梅園公園で撃ち納めと撃ち初めが催されます。

お問い合わせ先

- 朝倉市商工観光課
TEL. 0946-52-1428
URL. <http://www.city.asakura.lg.jp>
- 朝倉市観光協会
TEL. 0946-24-6758
URL. <http://www.amagiasakura.net>

表紙写真について
 ■ 律管脇立桃形兜・緋系威胴丸具足 小具足付: この甲冑は、黒田如水から長政へ、そして長政から秋月藩初代藩主長興へと伝来したものとされている。長興は、島原の乱の出陣の際、この甲冑を着用している。金色に輝く脇立は、自己の高揚と、武勇を誇示する目印でもあった。この甲冑をつけた出陣姿が島原陣図屏風にもみえる。

●参考: ふるさと人物誌、甘木市史、杷木町史、村史「ひなしり」 ●秋月郷土館収蔵品撮影: 藤本健八氏